

令和6年 川崎市立麻生中学校 学校経営計画

- 学校教育目標**
- 自主自律
- 1 健康で明るい人
 - 2 思いやりのある人
 - 3 創造性豊かな人
 - 4 国際性に富む人

- めざす生徒像**
- 明るくさわやかに挨拶ができる生徒
 - 何事にも意欲的に挑戦できる生徒
 - 周りの人を愛せる生徒、周りの人と協働できる生徒
 - 自分自身の将来をしっかりと見据えることができる生徒

- めざす学校像**
- 皆が尊重し合い、一人一人の個性が輝く学校
 - 生徒一人一人に確かな学力を身につけさせる学校
 - 規律正しく、安全に勉強・仕事に集中できる学校
 - 子どもと共にかかわるすべての人々が喜びにあふれた学校

- 基本理念**：「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」
- 基本目標**：◇自主・自立 ◇共生・協働
- I 人間としての在り方生き方の軸をつくる
 - II 学ぶ意欲を育て、「生きる力」を伸ばす
 - III 一人ひとりの教育的ニーズに対応する
 - IV 良好な教育環境を整備する
 - V 学校の教育力を強化する
 - VI 家庭・地域の教育力を高める
 - VII いきいきと学び、活動するための環境をつくる
 - VIII 文化財の保護・活力と魅力ある博物館づくり

学校経営4つの柱

中期経営目標

令和6年度の具体的な方策

豊かな心の育成

- 「共に生き、共に育つ」心の教育の充実
- 自己肯定感の育成
- いじめ根絶、不登校の対応の充実

- 学校目標「自主自律」の精神で、生徒自ら考えて行動できるように支援する。
- ひとりの大人として、教師の言動や態度、温かみのある丁寧な言葉づかい、態度で指導や支援を行う。
- 学校・学年行事には目的をもって取り組み、達成感や自己肯定感を感じられる指導・支援を行う。
- 教職員がチームを組み、生徒に対するアンテナ・ソナーを使って見守り、教職員と生徒が触れ合う機会を持つ。
- 生徒に寄り添い、生徒理解を深める中で生徒と保護者との信頼関係を築きながら教育活動に尽力する。
- いじめや不登校、問題行動等の未然防止に努め、早期発見・早期解決できるように教職員の連携や体制を図り、生徒会本部を中心に各専門委員会で取組や活動を工夫する。

確かな学力の育成

- 基礎的・基本的な知識及び技能の習得
- 主体的な学び、思考力・判断力・表現力の育成
- UDLの視点から支援教育の充実
- キャリア在り方生き方教育、総合的な学習の時間における探求的な学習の推進

- これからの社会の変化の中で、どのような能力が生徒に必要か、教職員で研修を行い共有し実践する。
- UDL(ユニバーサルデザイン・ラーニング)の視点を授業に取り入れ、教師個の授業力向上と生徒にとってわかりやすい授業や生徒自ら主体的に取り組む授業の工夫・指導法を考える。
- 主体的に学習に取り組む態度」の評価について研修する。
- 支援コーディネーターを中心に、生徒一人ひとりに対応した学習体制づくり、取り出しや入り込み、個別指導の充実を図り、個に応じたきめ細やかな指導を行う。
- キャリア在り方生き方教育を探究的な学習とし、働くことについて考える機会を設ける
- 総合的な学習の時間において、探求的な学習を通して、よりよい社会の在り方や自己の生き方について考えることができる生徒の育成を目標とする。

健康・安全教育の推進

- 健康教育の充実
- 防災・安全教育の推進
- 危機管理意識の向上
- 働き方改革に対して教職員意識向上

- 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
- 学校内外での怪我・事故対応は、迅速かつ適切な対応に心掛け、生徒・保護者に対して丁寧に対応する。
- 「学校は安心安全な場所であればならない」を共通理解とし、教室・校舎等の安全点検と環境整備に努める。
- 生徒一人一人の防災意識を高めるため、防災教育を通して、防災に関する知識を身につけ、地域コミュニティとの結びつきに取り組む。
- 授業や行事を改めて見直し、計画的、スリム化を意識し業務の効率化や働き方改革の意識向上を図る。
- 教職員の生徒の動向を把握する意識を高める。

開かれたかかれた学校づくり

- PTA活動の充実と連携
- コミュニティスクール(学校運営協議会)の推進
- 麻生中学校区地域教育会議との連携

- 学校に関する生徒・保護者のアンケート結果や学校行事後の感想を分析し、次年度の取組や課題を具現化し、教職員全体で共通理解すると共に改善する。
- 学校・学年・学級通信等の継続的な情報発信を推進する。
- 保護者・地域住民が教職員と一体になって学校運営に取り組むコミュニティスクールの組織作りと運営に取り組む、保護者・地域・小学校との連携の強化に取り組む。
- 本校に入学してくる近隣の5つの小学校との学校行事の把握や調整を行い、より一層、連携や情報交換を深めるように努める。
- 例年行っている麻生小学校との小中連携事業を充実させる。